

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2001-507750(P2001-507750A)

【公表日】平成13年6月12日(2001.6.12)

【出願番号】特願平10-530519

【国際特許分類第7版】

C 1 1 D 3/33

B 0 8 B 3/04

B 0 8 B 3/08

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 3/37

【F I】

C 1 1 D 3/33

B 0 8 B 3/04 Z

B 0 8 B 3/08 Z

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 3/37

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月22日(2004.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成 1 6 年 1 0 月 2 2 日

特許庁長官 小川 洋 殿

## 1. 事件の表示

平成 1 0 年特許願第 5 3 0 5 1 9 号

## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 バイエル・アクチエンゲゼルシャフト

## 3. 代 理 人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂 1 丁目 9 番 1 5 号

日 本 自 転 車 会 館

氏名 (6078)弁理士 小田島 平 吉



電話 3 5 8 5 - 2 2 5 6

## 4. 補正命令の日付 なし

## 5. 補正の対象

請求の範囲

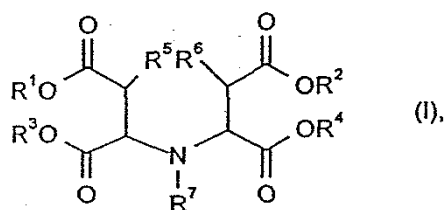
## 6. 補正の内容

請求の範囲の記載を、次のとおり訂正する。



『1. 温度が好ましくは10～100℃、pHが好ましくは3～13においてクリーニング組成物の溶液を用いるフラッシング操作によって、有機および無機性の汚れまたはこれら2種の混合物の汚れを剥がすか溶解させることにより、ガラス、グラファイト、セラミックス、重合体および金属材料、合成および植物繊維からつくられた表面および膜の表面をクリーニングする方法において、使用されるクリーニング組成物は

i) 式(I)



但し式中 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ および $R^4$ は互いに独立にH、Li、Na、K、 $NH_4$ 、 $H_3NCH_2CH_2OH$ 、 $H_2N(CH_2CH_2OH)_2$ または $HN(CH_2CH_2OH)_3$ を表し、

$R^5$ および $R^6$ は互いに独立にHまたはOHであり、

$R^7$ はH、 $CH_2CH_2OH$ 、 $CH_2CH_2CH_2OH$ 、 $CH_2CH(OH)CH_3$ 、 $CH_2COOR^8$ または $CH_2CH_2COOR^8$ を表し、ここで $R^8$ は $R^1$ とは独立に $R^1$ の範囲内の意味をもっているものとする、

のイミノジコハク酸、

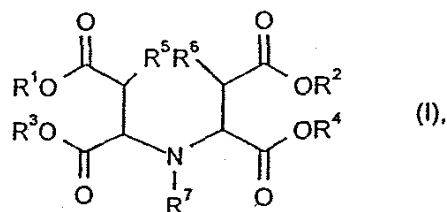
ii) ポリアミン酸、または

iii) 乳化剤

の系列から選ばれた少なくとも1種の成分を含むことを特徴とする

方法。

2. i) 式 (I)



但し式中  $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  および  $R^4$  は互いに独立に H、Li、Na、K、 $NH_4$ 、 $H_3NCH_2CH_2OH$ 、 $H_2N(CH_2CH_2OH)_2$  または  $HN(CH_2CH_2OH)_3$  を表し、

$R^5$  および  $R^6$  は互いに独立に H または OH であり、

$R^7$  は H、 $CH_2CH_2OH$ 、 $CH_2CH_2CH_2OH$ 、 $CH_2CH(OH)CH_3$ 、 $CH_2COOR^8$  または  $CH_2CH_2COOR^8$  を表し、ここで  $R^8$  は  $R^1$  とは独立に  $R^1$  の範囲内の意味をもっているものとする、

のイミノジコハク酸、

i i) ポリアミン酸、または

i i i) 乳化剤

の系列から選ばれた少なくとも 1 種の成分、および水、または水と  $C_1 \sim C_4$ -アルコールまたは  $C_3 \sim C_4$ -ケトンとの混合物とからなる群から選ばれた溶媒をベースにし、溶媒は全組成物の特に 40 ~ 99.9 重量%をなしているガラス、グラファイト、セラミックス、重合体および金属材料、合成および植物繊維からつくられた表面および膜の表面をクリーニングするための組成物。』